

質疑応答要旨

本質疑応答要旨には、会社業績、業務内容、株主還元、動議など議案審議に関係するものについて要旨を要約して記載しております。また、同様な質問につきましては趣旨をまとめた上でご紹介しております。

ご質問 ①

2月末以降、世界情勢が極めて不安定であり、未来予測が難しくなっています。この状況を踏まえて、フューチャーの成長戦略や注力分野の見直しをされているようでしたら教えてください。

【回答要旨】

フューチャーグループのお客様の属性などを踏まえ、現時点では今期の計画を見直すことは行っておりません。同時に、不安定かつ不確実な国際情勢下で経済が影響を受ける可能性も十分に踏まえ、成長戦略については常に検証し、リスクがあればタイムリーに対応していく考えです。今後とも株主の皆さまのご期待に応えられるよう、グループ全体の舵取りをまいります。

ご質問 ②

オンラインでの開催になりお土産が無くなりましたが、お土産を宅配便で送付して欲しいです。ご検討をお願いします。

【回答要旨】

お土産については、これまでも株主様から要否についてさまざまな意見を頂いたことを踏まえ、取締役会で議論を重ねてまいりました。そのうえで、私どもとしてはお土産ではなく、会社の成長や社会的貢献などにより株主の皆さまに還元させていただきたいとの考えに至った経緯でございます。何卒ご理解を賜りたくお願い申し上げます。

ご質問 ③

デジタル庁が発足して一年以上が経過しましたが、日常生活において大きな変化を実感するに至ってはいません。日本（国政）のIT、DXへのフューチャーの取組みなどについて、可能な範囲で教えていただけますと幸いです。

【回答要旨】

ご指摘のように、日本のデジタル化はこれまでも大きな課題でした。さらにコロナ禍の中、給付金が迅速に支給されない、そのためのマイナンバーシステムが機能しない、ワクチン接種でデジタルを上手に活用できないなど、その問題点は一段と明らかになってきていると認識しております。

私どもはデジタル化を通じた社会の課題解決を経営方針として掲げており、政府のデジタル化に関する会議体にも参加しておりますし、デジタル庁にも当社のコンサルタント数名が参画しております。残念ながら、なお課題は山積していると認識しておりますが今後とも諦めることなく、デジタル化やDX分野での社会貢献に取り組んでまいります。

ご質問 ④

人材採用の状況について教えてください。

【回答要旨】

私どもは、コンサルタントはテクノロジーに長けた人材であるべきとの方針のもと、人材の採用および育成に努めております。現在、自社でDX推進組織を形成されようとする企業も増えており、人材採用を巡る競争は激化しておりますが、当社グループの人材育成の方針などを十分説明しながら、優秀な人材をより多く採用できるよう努めてまいります。今期の新卒の採用人数はほぼ目標を達成できており、来年の採用活動も既にスタートしています。社員の質と数は私どもの成長のコアでございますので、最重要課題として認識しながら経営陣が一丸となって取り組んでまいります。

ご質問 ⑤

21 年は金融とサービスの領域でグランドデザインや設計フェーズの売上が拡大し業績を牽引され、素晴らしいと思います。22 年も 14%の売上成長を目指していますが、これまでの延長線で達成できるのでしょうか。また、新たな課題や対策はお考えでしょうか。

【回答要旨】

IT コンサルティング&サービス事業については、過去の挑戦により得たものが大きく、それが 21 年の業績にも繋がっていると考えておりますし、22 年度も 2 桁成長は達成できると考えています。

他方、ビジネスイノベーション事業はまだまだ道半ばでございますので、個人向けの新機軸の事業などにも総合的に取り組んでまいります。

ご質問 ⑥

サイバーセキュリティ対策の必要性が今後ますます高まると思いますが、この分野にはどのように取り組んでいくのか教えてください。

【回答要旨】

おっしゃる通りだと思います。サイバーセキュリティは欧米の IT 投資における主要分野ですが、日本は「システムを繋げないこと」によってセキュリティを確保してきた面があります。その構造的な弱点が、コロナ禍で露呈したように感じます。

今後、経済が持続的に成長していくためには、システムをネットワークで繋ぐことが必要不可欠になると考えており、セキュリティ分野のニーズは一気に高まると思われます。また、現在の国際情勢においては、サイバーテロに対する防衛策は必須です。

私どもは従来からこの分野に積極的に取り組んでまいりました。今後とも、増加するニーズを踏まえ、お客様に対し、私どものサイバーセキュリティソリューションを積極的に提供してまいります。また、フューチャーグループ全体の防衛のためにも然るべき投資を行ってまいります。

ご質問 ⑦

要望です。バーチャルオンリー総会でなく対面方式の総会も併行するか、対面による事業説明会の開催を検討していただけないでしょうか。

【回答要旨】

一年後はコロナも落ち着いているかもしれませんが、対面であれば当社の株式を保有して下さっている株主の皆さまの顔を拝見できるという大きなメリットがございます。

今回の経験を踏まえ、来年どうすべきかを取締役会等で議論させていただきます。

以 上